

# 菟書

芥川龍之介

青空文庫



元来僕は何ごとにも執着しふちやくの乏しい性質である。就中なかんづく蒐集しゅうしふと云ふことには小学校に通つてゐた頃、昆虫の標本へうほんを集めた以外に未嘗いまだかつて熱中したことはない。従つてマツチの商標は勿論もちろん、油壺あぶらでも、看板かんばんでも、乃至古今なにしここんの名家の書画しやうゑでも必死ひつしに集めてゐる諸君子しよくんしには敬意けいぎに近いものを感じてゐる。時には多少の嫌悪けんあくを交へた驚嘆きやうたんに近いものを感じてゐる。

書籍しやくしやくも亦例外またではない。僕も亦商売あつちやうがら多少の書籍しやくしやくをも蔵してゐる。が、それも集めたのではない。寧ろおのづから集まつたのである。もし集めた書籍しやくしやくであるとすれば、其処そこに何か全体に通ずる脈絡みやくらくを具へてゐなければならぬ。しかし僕の架上かじやうの書籍しやくしやくは集まつた書籍しやくしやくである証拠しやうこに、頗る糅然じうぜん紛然ぶんぜんとしてゐる。脈絡みやくらくなどと云ふものは藥くすりにたくもない。

では全然無茶苦茶むちやくちやかと云ふと、必しも亦さうではない。少くとも僕の架上かじやうの書籍しやくしやくは僕の好みを示してゐる。或はいろいろの時期おに於ける好みの変遷へんせんを示してゐる。その点では——僕と云ふものを示してゐる点では僕の作品と選ぶ所はない。僕は以前架上かじやうの書籍しやくしやくを買ひ入れた年月ねんげつの順しるに記し、その書籍しやくしやくの持ち主もぢぬしの一生いせいの変化へんかを暗示あんじする小品せうひんを書いて見よ

うかと思つた。が、西洋人の書いたものに余り似寄りの話を見た為、とうとうそれなりになつてしまつた。それなりになつてしまつたのは勿論天下の為に幸福である。しかし架上の書籍なるものの鏡のやうに持ち主を映すことは兎に角何か懐しい、さもなければ何か氣味の悪い事実であると云はなければならぬ。(この故に売り立てに「さしもの」をするのは他人の作品に筆を入れるのと同じ位道徳的に不都合である。)

蒐集家しゅうしふかのみの知る喜びや悲しみはかう云ふ僕には恵まれてゐない。何しろ本屋をひやかしてゐたり、或はカタロオグを読んではたりする内に目にとまつたものを買ふのであるから、感激すこぶも頗る薄うすい訣わけである。大金たいきんは勿論出したことはない。是これでも本道楽だうらくの話になるかどうか、其辺そのへんは僕にも疑問である。

(大正十三年七月)

# 青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 菟書

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>